

ニ宅やす子 著 評論家、小説家。明治二十二年二月十五日京都生れ。昭和七年一月十八日没（二八九〇—一九三二）。舊姓加藤。筆名ニ宅安子、高山あけ子。昆蟲學者ニ宅恒方（ニ宅雪嶺の弟）と結婚。夫の死別後又専心専心、大正十一年雜誌「ウーマン・カレント」創刊主宰。加藤弘之の姪（曾）、作家ニ宅艶子（舊名阿部艶子）は長女。口「ニ宅やす子全集」全五卷 （精進社） 監輯、昭和七年五月一日—九月十五日中央公論社）刊。

著書「作家傳主婦より」（大正十一年六月五日實業之日本社）、「ある

夫人の手紙」（大正十五年二月十八日アルス）、「愛し得ぬ悲しみ」

（大正十五年七月十四日アルス）、「續プロ作家最近傑作選集」（合著・

山崎今朝潮編、大正十五年十一月二十日解放社「解放群書」）、「文

藝講座・第一卷」（合著・日本放送協會關東支部編、昭和二年四月十

三日博白本ラヂオ協會文館「ラヂオ講演」）、「愛の讃歌」（昭和二年一月

十日教文社）、「午前九時」（昭和二年二月一日實業之日本社）、「沖

の太陽」（昭和二年四月二十一日實文館大阪實文館）、「細田民樹篇」（昭

和四年一月一日新潮社「現代長篇小説全集」）、「金」（昭和五年五

月一日朱進社）、「道實の歩む」（昭和五年六月二十五日教文社）、

「燃ゆる花びら」（昭和五年九月十七日新潮社「長篇文庫」）、「令

嬢學」（昭和六年六月十五日實文館「新女性叢書」）、「おたばこ」（合

著・時事新報社編、昭和六年十一月五日時事新報社）、「偽れる未亡

人」（昭和八年七月二十五日新潮社「新潮文庫」）等。